

## 基本的な学習内容⑧

### 解答

3年 氏名（ ）

#### 【国の政治の仕組み⑤】（教科書P100～101）

① 啓蒙思想家で「法の精神」を著し、三権分立の必要性を説いた人物は誰か。

① モンテスキュー

② 国会と内閣の関係について、内閣に与えられている権限を1つ挙げなさい。

② 衆議院の解散 など

③ 国民と裁判所の関係について、最高裁判所の裁判官は、国民の投票によって審査される。これを何というか。

③ 国民審査

④ 国会と裁判所の関係で、問題のある裁判官を裁く裁判を国会内に開くことができる。これを何というか。

④ 弾劾 裁判

⑤ 国会や内閣と裁判所の関係について、国会が制定した法律や内閣の行政処分などが憲法に違反していないかどうかを裁判所がチェックできるしくみを何というか。

⑤ 違憲審査 制

⑥ ⑤のように、最高裁判所は法律などが合憲か違憲かの最終決定権をもっているため、別に何と呼ばれているか。

⑥ 憲法の番人

- ⑦ ⑥について、刑法200条では「親などの身内を殺した場合は死刑や無期懲役など重罰にする」という規定があったが、最高裁判所により違憲とされ、現在は削除されている。なぜ違憲と判断されたのか。憲法の内容に触れて簡潔に説明しなさい。

**例** 身内の場合に重罰にするのは、人間の命に軽重をつけるため平等権に反するから。

- ⑧ 三権分立が必要な理由を、「集中」「自由と権利」の語句を使い、簡潔に説明しなさい。

**例** 国の権力が1つの機関に集中することを防ぎ、国民の自由と権利を守るため。